

トピックス

『NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会』のとしまの記憶通信第41号に、柴田泰孝さん（昭和二十七年法学部卒）の寄稿記事が掲載されました。

message

1964年東京オリンピックの思い出

明大駿台体育会・参与 柴田泰孝さん（西池袋2丁目在住）



1964年の第19回東京オリンピック開催時、大学卒業後、は自動車会社に入社して3年目でした。ウエイトリフティング試合会場は、新装された渋谷公会堂のこけら落しの新会場で各国の選手団を迎えました。

私は、明治大学ウエイトリフティング部員で前ローマオリンピックの時代の選手だった関係で、開場の補助役員として手伝いをしておりました。前ローマオリンピック時は、第二次世界大戦後の物資もまだ十分ではなく、ローマ行きもプロペラ機でしたが、東京オリンピックの新会場のモニターがカラーになり、その美しさにビックリしました。開会式の報道も毎日新聞だけがカラーで掲載していました。

オリンピック全競技の中で第1号の金メダルを私の同期の三宅義信選手（法政OB）が目の前で獲得し、会場はもとより報道関係も大騒ぎであり、私も自分のことのような高揚感と感動を覚えた嬉しさを思い出します。学生時代に練習を共にした七選手が代表選

手として参加し、3位バンタム級一ノ関史郎選手（法政OB）、3位ミドル級大内仁選手（法政OB）、4位フェザー級福田弘選手（明治OB）、5位ミドル級三輪定広選手（明治OB）、6位フライ級山崎弘選手（明治OB）、6位バンタム級古山征男選手（明治OB）の全員が入賞と素晴らしい見事な成績を収めました。

1954年（昭和29年）の丸の内線の開通などの鉄道路線の整備が進むとともに、1960年（昭和35年）には、「首都圏整備計画」において、池袋は新宿、渋谷とともに「副都心」に位置づけられますが、1964年東京オリンピック開催当時は、池袋駅西口の区画整理も未完成で、まだ戦後の雰囲気が残っていました。仕事上では、首都高速道路1号線が開通し、首都高速道路公団に道路の維持・管理の車両（ピックアップ）を50台納品した思い出があります。

さまざまな都市施設が整備されてきた池袋のまちの魅力向上とともに、今年の「東京オリンピック・パラリンピック2020」の日本選手団の活躍を期待し、祈念いたします！

報告事項

新型コロナウイルスの感染拡大防止として、左記の豊島区地域支部の関連事業・行事について、**中止・延期**となりましました。

◆社会貢献活動見本市への協賛「明治大学校友会豊島区地域支部賞の贈呈」・パネル展示への参加（2月29日開催予定）…延期（期日未定）

◆としまNPO推進協議会「東の楽座」フリーマーケットへの出店（3月28日、4月25日、5月16日開催予定）…中止

◆第14回ミレイ会（3月10日・5月12日開催予定）…延期（期日未定）

◆ミレイ会の開催が3月から延期になっていることから、ミレイ会メンバーのコミュニケーション・ツールとして、ミレイ会開催までの取り組みとして、近況報告などを掲載した『ミレイ会通信』を4月28日から不定期に発行しています。

ミレイ会の皆さまからの近況報告やメッセージをお待ちしています。

（※メールなどで、幹事長の猪瀬宛にご連絡下さい。）

◆マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ定期演奏会（5月16日予定、豊島区地域支部後援）…中止

◆東京都北部支部総会・懇親会（6月6日開催予定）…中止、一定時総会議案書」の送付とハガキによる書面表決。

◆豊島区地域支部『暑気払い』（8月1日予定）…中止

◆今後の予定

○第10回東京六大学野球明立戦 応援観戦と観戦後の豊島立教会との懇親会（当番校…立教）…9月・10月（日程未定）

○豊島区地域支部『定時総会・懇親会』…11月14日（土）

◆協力のお願い

身近な社会貢献活動として、使用済み切手・書き損じハガキを豊島区民社会福祉協議会へ寄付、ベルマークを豊島区教育委員会へ寄付を行っています。毎月開催している役員会で収集とりまとめしていますので、校友の皆さんも収集活動にご協力の地域支部役員へお届け下さるようお願い申し上げます。

◆豊島区地域支部年会費納入のお願い

校友の皆さまには、明治大学校友会豊島区地域支部の事業へのご協力御礼申し上げます。

豊島区地域支部の会報の制作・郵送などの事務費については、会員の皆さまからの年会費により運営しています。

まだ年会費を納入されていない校友の皆さまには、今回同封の振込用紙にて手続きいただければ幸いです。何卒、ご協力お願い申し上げます。

◆訃報・お悔やみ

鈴木正美さん（1964年政治経済学部卒・東京商工会議所豊島支部名誉会長）



鈴木正美さま、校友会へのご支援、ありがとうございました。
2015年豊島区地域支部総会・懇親会で、乾杯のご発声（写真右）
2018年豊島区地域支部総会・懇親会で、校歌（写真左）

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2020年 第64号

二〇二〇年暑氣払い

「中止」の「連絡

校友の皆さまには、いかがお過ごしでしょうか。

例年8月初旬に開催している『暑氣払い』について、本年度は中止とさせていただきます。新型コロナウイルスの感染防止のための緊急事態宣言は解除されましたが、毎年多くの校友の皆さまにご参加いただいている状況の中で、さらなる感染の再発を防止するとともに、皆さまの健康を第一義的に考え、開催中止を決定しました。

豊島区地域支部役員会の開催も困難を極めるとともに、ミレイ会の開催の延期や、東京都北部支部総会など校友会関連の各種事業・行事も中止になり、皆さまと交流・懇親する機会が持てず淋しい限りです。

今後の事業・行事の新しい日程が決まり次第 改めてご案内申し上げます。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、時節柄一層の「自愛のほどお祈り申し上げます。

支部長 白砂正人

二〇二〇年初春交流会を開催

校友の皆さまには、新型コロナウイルスの影響でさまざまな活動における自粛を経験されるなど、例年とは違った日常生活を体験していることと思います。

明治大学校友会豊島区地域支部の三人行事の一つである『初春交流会』が令和2年2月8日(土)午後6時から、「地球飯店」宴会場において開催しました。



今回の初春交流会には、総勢72名の参加があり、北野大校友会長はじめ、荒川区、北区、板橋区、練馬区、新宿区、中野区、港区、世田谷区、中央区、墨田区、あきる野市などの近隣地域支部の支部長・幹事長の皆さまなどもご参加下さいました。ご参加いただいた皆さまに、改めて御礼申し上げます。

初春交流会は、中西大輔常任幹事の司会のもと、一般社団法人江戸消防記念会第四区十番組・八番組の4名の皆さんによる初春らしい木遣りから開宴しました。

白砂正人豊島区地域支部長の新年

のあいさつに続き、

昭和33年経営学部卒・体育会相撲部OBの勝浦信男校友の乾杯のご発声により、楽しい会食・



歓談がスタートしました。引き続き、北野大校友会長から「校友会地域支部に期待すること」と題して講話いただきました。

柳田直毅さん(平成20年政経卒)ご夫婦、長橋健一さん(平成21年政経卒)ご夫婦からの結婚報告や、墨田区地域支部の笹本和義幹事長から昭和6年の応援団による校歌の音源(CD)が披露されるなど、楽しい懇親の場となりました。

盛会の中で、橋爪孝利常任幹事のリードによる校歌斉唱、兼村仁副幹事長と一般社団法人江戸消防記念会第四区十番組・八番組の皆さまの掛け声による三本締めで閉会しました。

今年も校友の皆さまとともに、より一層楽しい交流の場の継続と、地域貢献する団体として活動できますよう、豊島区地域支部の事業・行事へのご参加とご支援をお願い申し上げます。

幹事長 猪瀬典夫

明治魂を伝える

昭和四十九年商学部卒

伊地知 和代

昭和四十九年度商学部卒の伊地知和代と申します。このたび「明治魂を伝える」の原稿を依頼されましたが、私のような者が筋金入りの明大卒業メンバーの皆様に「魂」を伝えるなどというおこがましいことはできないということでお断り申し上げましたが、猪瀬幹事長の熱心なご依頼と島村副幹事長の強引な説得(?)により、引き受けました。

私は伊豆大島の開拓農家に生まれ育ちました。両親と弟二人、それに家畜(牛、豚、山羊、鶏など)に囲まれ、餌やり、乳しぼり、卵集め、小屋掃除など子どもながらによく働いた記憶があります。実際は貧しい家庭環境だったようですが、私自身は大自然の中で木いちご、桑の実、山葡萄、いちじくなどを食べながら、木登りや牛の背に乗ったりして貧しいと感じることもなく、今しみじみと両親に感謝しております。中でも夜になると毎日、ランプの灯りで父が本を読んでくれたことが温かい思い出となつて甦つてまいります。

しかし、その後、若年性のリュウマチを患い、通院のために上京、叔母の家から高校に通学し大学進学を目指しました。体の不調もあり大変でしたが昭和41年、かろうじて明治大学商学部の2部に合格できました。入学後、昼は印刷会社に勤務。ゼミは北島先生の証券市場論を受講。しかし証券市場については、未だにさっぱりわかりません。部活はなぜかモグラ横丁の奥に入ったところに部室が



ある経済学研究部に入部。サークル仲間と富津寮での合宿に行ったり、足利トリコット工業団地への実態調査、あとは訳のわからないことをアルコールの力を借りながら、夜通しおしゃべりしたことが楽しかったです。そして六大学野球で明治が優勝

した時に、提灯行列をしながら、校歌を歌い、靖国通りを練り歩いたことは最高の思い出となりました。しかしながら、そんな楽しい大学生活にも学生運動の波が押し寄せ、わが明治大学にもバリエードが築かれ、講義も満足に受けることができなくなりました。また、内ゲバも盛んになり、モグラ横丁のいたる所に、血のりの付いたハチマキやタオルが散乱しておりました。こうした事態を前にして、何もできない自分に、そして傍観者でいることに虚しくなり、いつの間にか大学から足が遠のき、結果、私の人生にとって大学時代は不完全燃焼で終わった気がしていました。

その後、結婚し子育ても終え、ほっと一息入れたころ、昔、意味も考えずに、よく歌っていた明治大学校歌が心の中にわずかではありますが、湧き上がってきたのです。その音声は次第に私の心の中で大きくなってきました。「強き光に輝けり 独立自治の旗翳し」「刻苦研鑽他念なき 我等に燃ゆる希望あり」。やがて明大卒の誇りをもう一度と、地域のために尽くすことを決意。町会の役員や民生委員を務め、今では住まいの駒込都営団地の理事長も任されており、七十七歳代となった今再び、皆様の一

員に加えて戴き心より感謝申し上げます。皆様とご一緒に心豊かな時間が過ごせたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



自治会長として、染井吉野記念公園・駒込駅前交番の横の花壇の手入れなどを主体的に取り組んでいます。(令和2年5月14日には、ヒマワリの種まきを行いました。)夏には、きれいなヒマワリの花が咲いて、近隣の人たちにも楽しんでもらえればと思います。

池袋斉藤道場

師範 中西大輔

(合気会合気道五段)

一九九九年文学部史学地理学科学卒

道場主催者の斉藤孝雄師範(合気会

合気道七段・一九六六年政治経済学部

卒)は、合気道に出会い合気道の開祖、

植芝盛平翁先生の最晩年の時期、本部

道場で教えを受けました。その後合気

道を世界に普及させるべくアメリカ、

インドにて指導を行い、帰国

後も後進の指導にあたりま

した。一九九九年自身の診療

所の下(豊島区東池袋2-6

1-2ロイヤルアネックス3

階)に道場を開き、老若男女、

国籍をこえて多くの人々に

独自の理論で指導していま

す。斉藤先生は、公益財団法

人合気会公認池袋斉藤道場・

豊島区武道医学会の会長を

務めるなどの要職を担って

います。

当道場には、明治大学体育

会合気道部OBも多数参加

しており、社会人となっても

心身の鍛錬に励んでおりま



す。

地球上で生きてい

る限り私たちを支配

している大きなエネ

ルギー、それは「大気」

と「重力」です。大気

を呼吸によって交換

し、身体に重力の影響を受け続けて

我々は生きています。

自然の大きなエネルギーの中にあ

る身体と精神というエネルギー、その

間にあるのが「呼吸」なのです。それ

は私たちにとって、自身の意識と身体

をコントロール

ルすることが

出来る手段で

もあるのです。

呼吸によって

自己の意識と

身体をコント

ロールし、呼

吸によって相

手の重心を感

じ、呼吸によ

って力の流れ

を創り出す。

息を合わせ、

時に爆発的な

呼吸を使い、

または針のよ

うな集中力を発揮する。そして言葉さ

えも呼吸の一種なのです。また重力の

中で重心を感じる事も呼吸の中の感

性の1つです。呼吸と身体と重力と自

然のエネルギー、それら全てを使って

行う修練の方法としての合気道なの

です。ダンスや音楽、ヨガ、芸術など

にも通ずるそれは日常生活や仕事、そ

してより良く生きていくための力に

なるのです。

当道場においては、合気道の稽古を

もとにしながら、それぞれの身体感覚

の向上をめざす次のような稽古法を

おこなっています。

① 柔軟運動(呼吸法を取り入れたも

のや、合気道の型を使ったもので

行ったりもします)

② 合気道の体さばき、運足法、受け

身など(武道独特の身体の動かし

方をとおし非日常的な身体感覚

を体得します)

③ 合気道の型稽古、自由技、多人数

取りなど(合気道の数多くの技の

内から、その日のテーマに合った

ものを練習します)

④ 合気剣術、合気杖術など(身体の

延長としての武器を使った稽古

により、自身の内観や心身のコン

トロールを学びます)

⑤ 呼吸法(合気道ならではの座して

行う呼吸法です。二人で向かいあ

って座し、手を取り合い、互いの

呼吸や重心を確かめる稽古です)

⑥ 先生による講義(合気道の理合や

医学的知識、物理学や科学の原理

原則、哲学や宗教と、広い分野か

らの講義で知識による、頭の稽古

をします)

⑦ 早朝稽古(先生の持論である『人

は人生を一日単位で生きる。その

一日を自身でコントロールする

ためには、朝の過ごし方で決まる。

意志の力によって自身の人生の

時間を有効に使うために、呼吸法

や心身調整を行い仕事や勉強に

向かうべきである』…:のっとり

自主参加で月曜から土曜の毎朝、

行われています)

道場の他に健康プラザとしまでも

見学・体験を受け付けております。健

康プラザとしま9階の受付にて「武道

場の見学です」と一声かけてください。

階段で8階にさがり、武道場の畳側で

稽古しております。当日、運動着など

動きやすい格好であれば、稽古に体験

参加できますのでお気軽におこしく

ださい。

◆道場連絡先

03-3987-5024